

健常者と障がい者のスポーツ・レクリエーション活動連携事業：競技団体によるモデル事業
島根県高等学校体育連盟ライフル射撃専門部
「みんなで楽しむビームライフル&ビームピストル体験会
～もしかしたら東京オリンピックに出られちゃうかも～」

- 1 日時 平成28年2月21日（日） 13時～15時30分
- 2 会場 サン・アビリティーズ出雲（出雲市今市町）
- 3 参加者 参加者30人、スタッフ17人 計47人（内：障がい者18人）
※参加者内訳：小学生以下6人、中・高校生17人、成人24人
- 4 内容 ①ビームライフル・ビームピストルの体験
②試合形式

開会式前の様子



会場に入ると、既にいつでも撃つことができるように、ビームライフルとビームピストルが5台ずつセッティングされており、初めて目にする人はワクワクドキドキしているのが見ているスタッフに伝わってきました。

計画では開会式終了後に一斉に説明をしてから体験と考えていましたが、「早くやってみよう」という気持ちが前面に出ている参加者の姿を見て、主催者の方が予定を変更し、受付を済ませた人から撃つことができるようにしました。このスタートで2時間の活動がとても楽しい時間になりました。



指導にあたったのは立正大学浜南高校ライフル射撃部員の14名のみなさん。全国大会で活躍する選手もいますが、ほとんどが高校生から競技を始めたそうです。小学生や中学生にはやさしく丁寧に、大人の方にも臆することなくしっかりとサポートができていました。

障害者ライフル射撃協会の会員の方や指導者の方とも連携・協力してくださり、小学校低学年から80歳以上の方まで和気あいあいとした雰囲気での体験会となりました。

5 参加者のみなさんの声

高校生

初めてライフル射撃を体験しました。ライフル銃はとても重たいし、スコープをずっと覗いていると目がとても疲れ、最初の頃は連続で撃つことはできませんでした。

何発か撃っていると精度が上がり、10点満点に命中し、赤いランプがついた時には自然と笑みがこぼれました。

スタッフ

昨年度のしまねレクリエーションフェスティバルに続き、障害者ライフル射撃協会と高体連ライフル射撃専門部との連携で事業が実施できたことに意義があります。障がいの有無に関わらず一緒に楽しむことができる競技の特性を生かして、今後も競技人口の拡大につながるイベントを開催したいと思います。

ライフル射撃・ピストル射撃は、オリンピック、パラリンピックの両方にある数少ない競技です。球技が苦手でも、走ることが苦手でも、若くても、高齢者でもトップアスリートになれる可能性を秘め、しかも、生涯にわたって楽しむことができる競技です。

機会があれば是非体験してみてください。